

愛知大同窓会長

八木好郎さん(72) 瑞穂市

5日に愛知大(本部・名古屋市)の第17代同窓会長に就任した。「『出会い』と『絆』、『相互扶助』を大事に活動に取り組みたい」と意気込む。

1972年に経営学科を卒業後、岐阜信用金庫に入庫。副理事長を務めた。仕事と同窓会活動を両立させ、同窓会でもブロック長や副会長を歴任してきた。愛知大は岐阜、愛知両県出身の学生が多く、同窓生会員9万5千人のうち岐阜県内在住者だけでも1万人に上る。「同窓生と分かって意気投合し、取引が始まることがあった」と振り返り、「懇親会とは別のやり方で会員同士を結びつけ、ビジネスチャンスを生み出せないか。同窓会に入って良かったと会員が感じるようなメリットを高めたい」と話す。

会は今年創立70周年の節目を迎え、11月には祝賀会を開く。2012年に名古屋キャンパスがJR名古屋駅南側の再開発地区に置かれて以降、利便性が高まって岐阜県からの入学者は増えているといい、「任期中に若い会員を育て、岐阜へも貢献していきたい」と意欲を燃やす。

出会いと絆 大事に活動

